

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会 ニュースレター

第 174 号 (2024 年 9 月号)

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
<http://izumichurch.holy.jp/>
発行人 宮地 宏一



子どもたちの長かった夏休みが終わり、学校がスタートし、ホッと一息ついていきます。

この夏、ご招待いただき、八幡浜に行きました。お宅はミカン畑に囲まれた自然豊かな場所にあり、着いて早々スイカ・オクラ・いちじく・ブルーベリーを収穫。そのあと車で 1 分の海で釣りを楽しみました。翌日は海でサップをし、夜はバーベキュー。翌々日は日本一長い廊下(109m)



で“雑巾がけレース”をしました。勢いよくスタートした私ですが 50m 付近で顔を上げたが最後、心が折れて…何度も滑って、ようやくゴール。諦めないことの大切さを学びましたが、しばらく雑巾を見たくありません笑

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。 (2024.09.01)



嵐の中で

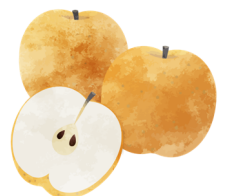
少し前にも書きましたが、5000 歩以上歩くとポイントがもらえるスマホアプリを利用しています。このアプリ、目標を達成したらポイントがもらえるのではなく、毎回クジを引いて“アタリ”が出たら、ポイントがもらえるのです。ところが半年以上、一度も“ハズレ”が出ていません。子どもたちも、それが分かっているで「どうせアタリだし～面白くないよ」と言いながら、毎回クジを引いているのです。普通、当たれば嬉しいはずが、アタリだけしか出ないクジはつまらないようです。恐らくクジを引くドキドキ感がないので、面白くないのでしょう。これって、とても興味深いですね。

私たちは普段、勝つこと・成功すること・アタリが出ることを幸せだと考えています。だから負けること・失敗することになるべく避けようとするのです。私も人生の成功者となるべく、頑張ってきました。しかし結果は、、失敗だらけで、理想とは程遠い人生。こんなに上手くいかないものかとガッカリします。

でも改めて全くストレスがなく、何でも思いどおりになったら、それが幸せで、面白い人生だろうかと考えてみたのです。失敗だらけの私が書いても負け惜しみのように聞こえなくもありませんが、時に失敗し、時に上手くいかない人生の方が飽きることなく刺激的。「あ～オレは生きている」と実感できるような気がするのです。だから、ある程度のストレス、思いどおりにならないことは私たちが生きていく上で、必要なのではないかと思います。

しかしながらストレスがかかり過ぎたり、思いどおりにならないことが続くと、しんどくなる。「こうしておけば良かった」「あんなことをしなければ、こんなことにならなかったのに」と後悔する。「オレはダメだ～」と自分を責めてしまうこともある。

だからストレスが程良くなるような人生を過ごせたらと願いますが、そうはなりません。日々、ストレスと重荷を負って、何とか生きているのが現実です。





では神さまを信じたら、いつも幸せで、何も問題が起こらないのでしょうか。そうではありません。聖書を見ると、神さまを信じている人たちも試練にあっているのです。イエスさまといつも一緒にいた弟子たちも、そうでした。彼らはイエスさまと一緒に乗った船で嵐にあうのです。彼らは嵐の中で、必死に水を掻き出し、船をコントロールしようとします。でも嵐から抜け出すことができないのです。

このピンチに、弟子たちはイエスさまを思い出します。「イエスさまは、この嵐の中で何をしておられるだろう。

私たちと一緒に必死になって水を掻き出しておられるだろうか。必死に祈っておられるだろうか」

こんなことを思いながら、イエスさまの方を見ると、何とイエスさまは嵐の中で寝ておられたのです。

弟子たちは驚くと同時に、怒りがこみ上げてきます。「何でオレたちが困っているときに、寝ていられるんだ。オレたちのために何もしてくれないなんて、ヒドすぎる」

そんな気持ちで彼らはイエスさまを起こし、「先生。私たちが死んでも、かまわないのですか」と訴えるのです。そうするとイエスさまはすぐに起き上がり、湖に向かって「黙れ、静まれ」と言われると、嵐はやみ、すっかり凪になります。これを通して弟子たちは、イエスさまのことを非常に恐れるのです。

弟子たちはこの時、嵐の中でイエスさまが寝ておられるのを見て「自分たちのために何もしてくれない」と確かに失望したはずでした。

私たちがピンチの時に、イエスさまが寝ておられたら、同じような反応をすると思います。しかも実際、ピンチの時に何の助けもなく、沈みそうになるときがあるのです。「イエスさまは私が困っていても、大変でも全く興味がないんだ。私は見捨てられた」と絶望してしまう。



しかしイエスさまは私たちに興味がないわけではありません。私たちの苦しみ、痛みをすべて分かっておられるのです。それだけでなく、イエスさまは私たちを決して見捨てず、見放されません。私たちが嵐のただ中で一人ぼっちだと感じていても、イエスさまはずっと私たちの側にいてくださるのです。

私たちは生きている限り、たくさんのピンチにぶち当たります。それら一つ一つのピンチの中でイエスさまに祈り、イエスさまの助けを待ち望むなら、私たちはイエスさまの確かな救いを経験することができるのです。そうすると私たちはイエスさまがいつもともにいてくださることを味わい、イエスさまの愛と恵みをより深く知ることができるでしょう。そのとき私たちは「あ～私はイエスさまによって生かされている」と感謝と喜びが湧いてくると信じます。これこそ幸いな人生なのです。



ウジェーヌ・ドラクロワ 「嵐の中で眠るキリスト」

この苦しみのときに

彼らが主(神さま)に向かって叫ぶと

主は彼らを苦悩から救われた。 [聖書]



- 礼拝 毎週日曜日 10:30～12:00
- イズミン・キッズ 毎週日曜日 9:30～10:20
- おやこ de えほん 毎週水曜日 10:30～12:00
- Friendly English 毎週木曜日 9:30～11:50 (大人向け)



* どなたでも歓迎いたします！「Friendly English」以外は事前申込みなしで参加いただけます。
上記の他に様々な相談や聖書の学びをすることができます。お気軽にお問い合わせください。